

魅力ある快適空間

アーバンスクエアを創るアリスカ

17年3月期

中間決算説明会資料

16年(2004年)11月



株式会社アリスカ

<http://www.arisaka.net/home.html>

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。



## コンテンツ

### 独立系アミューズメント施設の運営会社として 九州から西日本、そして全国へ

コンテンツ	P2	決算概要	
会社概要		中間貸借対照表	P16
会社概要	P4	中間損益計算書	P17
事業の沿革	P5	有利子負債の推移見込み	P18
事業内容		事業別売上高予実比較	P19
事業別店舗数推移と見込み	P7	キャッシュフロー計算書	P20
当中間期（H16年9月）のハイライト	P8	H17年3月期 第1四半期の概要	P21
年度別ゲーム市場の規模と店舗数	P9	整備投資、減価償却費の推移	P22
業界順位（アミューズメント施設）	P10		
店舗の状況（平成16年9月30日現在）	P11		
的確な資本政策の実行	P12		
業績推移	P13		
H17/3期 業績予想	P14		



## 会社概要

---



## 会社概要

---

会社名 株式会社アリサカ  
代表取締役 有坂 順三  
設立 昭和51年10月9日  
資本金 635,150千円  
発行済株式数 3,138,000株  
所在地 本社 宮崎市本郷北方2485-20  
従業員 社員 83名 パート・アルバイト 546名  
(平成16年9月30日現在)  
平成14年10月 ジャスダック上場

### 事業内容

- ゲーム施設の運営及びゲーム施設を主軸に、ボウリング、スーパー銭湯、カラオケ、バッティング等の各施設と他社テナントを含めた**複合アミューズメント施設**の運営



## 事業の沿革

---

- 昭和 53 年      ゲーム機械のレンタル業を開始
- 昭和 63 年      福岡市にゲーム・カラオケ店の直営1号店開設  
以後、ゲーム店舗を増設
- 平成 4 年      バッティングセンターを事業に加える
- 平成 6 年      ボウリングセンターを事業に加える
- 平成 10 年     スーパー銭湯を事業に加える

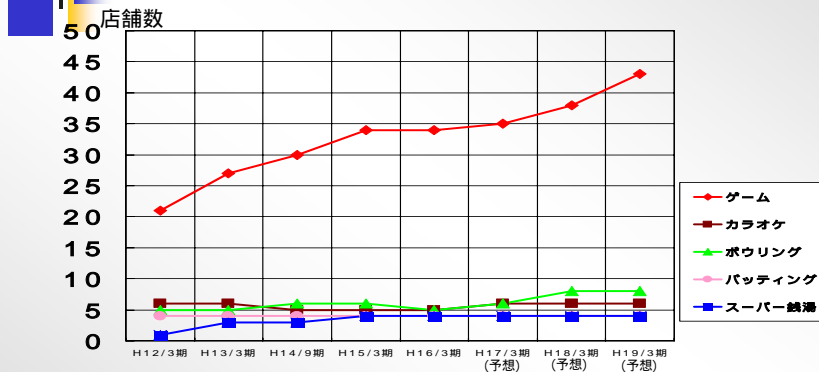
**あくまでゲーム事業が主力、他の事業部門はゲーム事業の集客目的として位置づけ**



## 事業内容

---

## 事業別店舗数推移と見込み

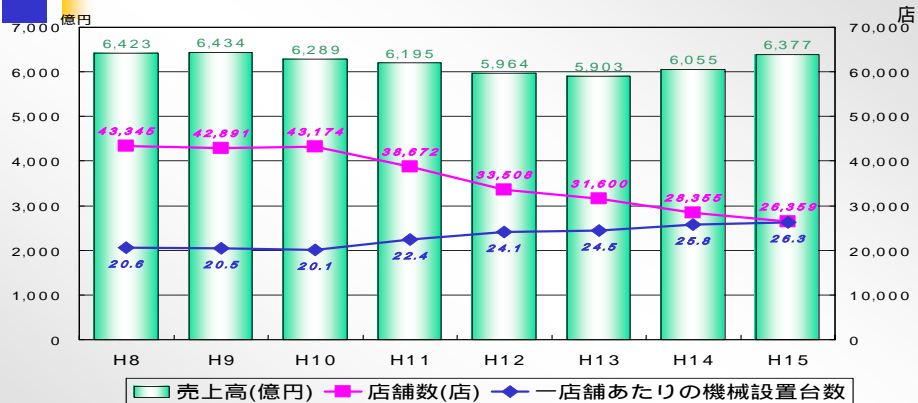


- 出店方針：大型ゲーム単独店が中心  
スクラップ&ビルドによる事業の効率化  
平成17年3月期以降は大型複合施設の出店も積極化
  - 年間5～6店舗程度の新店を計画
  - 小型店等の不効率店の閉鎖を実施

## 当中間期(H16年9月)のハイライト

- 出店
  - H16年4月 アーバンスクエア草津駅前店(滋賀県草津市)
  - H16年4月 ジョイプラザ新宮店(福岡県糟屋郡)
  - H16年6月 アーバンスクエア与次郎店(鹿児島県鹿児島市 - 共同店舗)  
共同店舗・・・共同事業者との歩率契約による店舗
- 退店
  - ドームイン日向店(宮崎県日向市)
  - アーバンスクエア行橋店(福岡県行橋市)
  - アーバンスクエア中央通店(宮崎県宮崎市)
  - アーバンスクエア心齋橋店(大阪府大阪市)
  - アーバンスクエアゴールドタワー宇多津店
- H16年7月 アーバンスクエア一番街店(宮崎県宮崎市)  
リニューアルOPEN
- H16年7月 株式分割(1:1.2)を発表

# 年度別ゲーム市場の規模と店舗数



- 店舗数は平成8年度の4万3,174店から平成15年度には2万6,359店に大幅減少
  - 1店舗で100台を超える大型店舗が増加し、店舗の大型化傾向に拍車
  - スクラップアンドビルドが加速
  - 企業間格差がますます広がる傾向
- 淘汰が進み企業数、店舗数ともに減少予想

資料出典 アミューズメント産業界の実態調査報告書から(毎年9月下旬に発行)

# 業界順位 (アミューズメント施設)

(単位:百万円)

順位	会社名	売上高	決算月	市場占有率
1	(株)セガ	69,860	3月	11.0%
2	(株)ナムコ	61,238	3月	9.6%
3	(株)タイトー	44,623	3月	7.0%
4	(株)イオン・ファンタジー	23,255	2月	3.6%
5	(株)ファンフィールド (旧ダイエーレジャーランド)	17,455	2月	2.7%
6	(株)アドアーズ(旧シグマ)	16,970	3月	2.7%
7	マイカルクリエイト	9,981	2月	1.6%
8	(株)ワイドレジャー	9,106	2月	1.4%
9	(株)アトラス	7,112	3月	1.1%
10	(株)プレビ	6,217	3月	1.0%
上位10社の合計		265,817		41.7%
12	(株)アリサカ	4,534	3月	0.7%

上位10社の内、5社はゲーム機器メーカー  
3社は大手流通系の会社

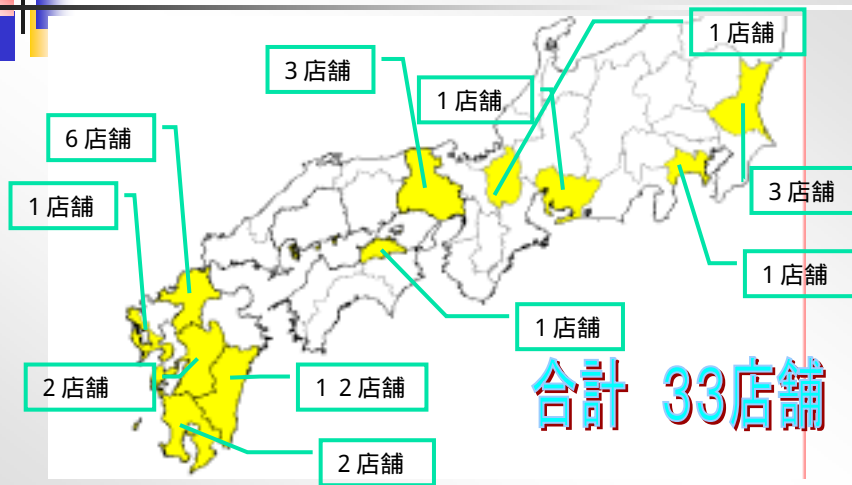
(注)1. 上記売上高は、サービス業総合調査のアミューズメント施設のみの売上高であります。

2. 資料……………(平成16年11月付 日経MJ記載)。

3. 市場占有率…アミューズメント施設の市場売上高に対して算出しております。

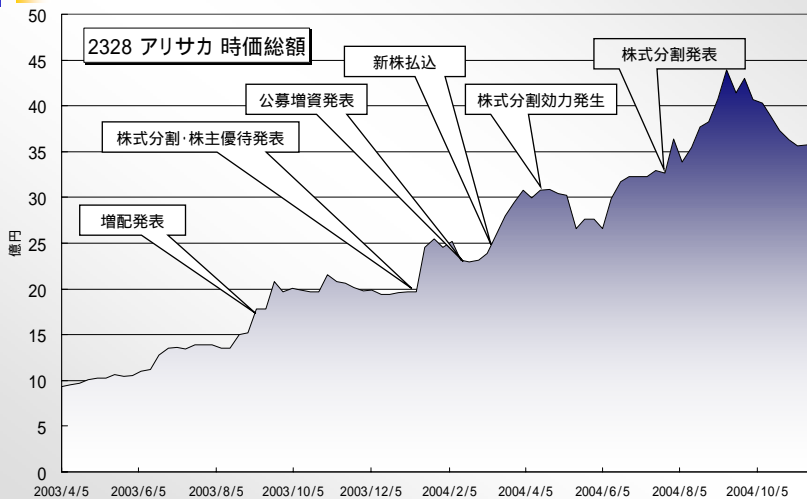
(平成16年3月期637,700百万円…資料アミューズメント産業界の実態調査報告書)

# 店舗の状況 (平成16年9月30日現在)



九州地区 複合店 11店、単独店 10店、共同単独店 1店  
九州外地区 複合店 1店、単独店 8店、共同単独店 2店

# 的確な資本政策の実行

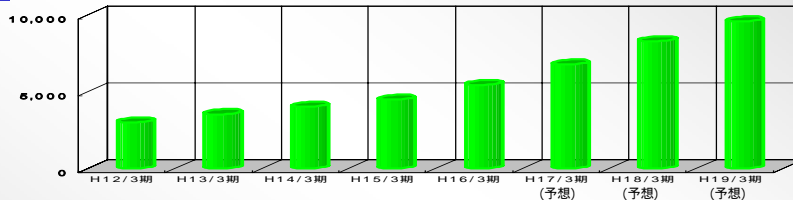




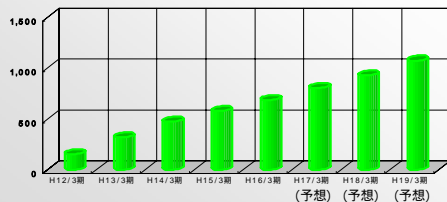
# 業績推移

## 売上高

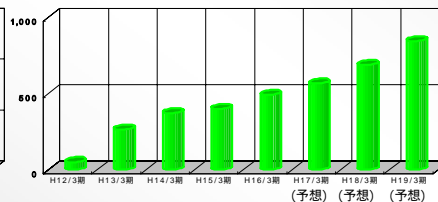
(単位：百万円)



## 営業利益 (単位：百万円)



## 経常利益 (単位：百万円)



# H17/3期 業績予想

	H16/3期	H17/3期 当初予想	前期比	H17/3期 修正予想	前期比
売上高	5,451百万円	6,525百万円	19.7%	6,800百万円	24.7%
営業利益	686百万円	788百万円	14.9%	804百万円	17.1%
経常利益	492百万円	553百万円	12.3%	567百万円	15.1%
当期純利益	214百万円	252百万円	17.8%	255百万円	19.3%
E P S	91.75円	82.23円	-10.4%	67.79円	-26.1%
R O E	12.3%	12.3%	0.0%	12.5%	1.5%
R O A	2.2%	2.5%	-13.6%	2.4%	9.5%
自己資本比率	19.4%	21.4%	10.3%	19.2%	-1.1%
年間配当	25.00円	25.00円	-	25.00円	-
配当性向	27.2%	30.4%		33.8%	

&lt; 計画策定の前提条件 &gt;

- ・当期開設店の売上見込み + 1,184百万円
- ・前年開設店の通年効果 + 712百万円
- ・閉鎖店舗の売上減少 342百万円
- ・既存店売上高の前期比計画 94.7%

(H16/3期実績98.3%)

## 年度別売上高推移

単位：百万円



# 決算概要

# 中間貸借対照表

(単位：千円、%)

	前中間期末 H 15/9月期	当中間期末 H 16/9月期	増減額	前期比		前中間期末 H 15/9月期	当中間期末 H 16/9月期	増減額	前期比
<b>資産の部</b>					<b>負債の部</b>				
流動資産	922,733	1,188,079	265,346	128.8	流動負債	2,415,281	2,958,251	542,970	122.5
固定資産	8,603,952	9,729,052	1,125,100	113.1	固定負債	5,539,073	5,962,864	423,791	107.7
有形固定資産	7,707,742	8,827,340	1,119,598	114.5	負債合計	7,954,354	8,921,115	966,761	112.2
無形固定資産	124,699	97,287	-27,412	78.0	<b>資本の部</b>				
投資その他の資産	771,510	804,423	32,913	104.3	資本金	502,250	635,150	132,900	126.5
繰延資産	14,502	9,775	-4,727	67.4	資本剰余金	500,310	632,910	132,600	126.5
					利益剰余金	578,437	735,777	157,340	127.2
					その他有価証券 評価差額金	6,070	7,251	1,181	119.5
					自己株式	-235	-5,297	-	-
					資本合計	1,586,833	2,005,791	418,958	126.4
資産合計	9,541,187	10,926,907	1,385,720	114.5	負債・資本合計	9,541,187	10,926,907	1,385,720	114.5
					1株当たり純資産額	685.61	640.30	-45.31	93.4

現金預金の増加 195百万円 棚卸資産の増加 63百万円  
前払費用の増加 47百万円

出店及び既存店のリニューアル等による設備の増加  
1,870百万円  
減価償却費及び除却等  
751百万円  
(地代家賃、保険料、支払利息、リース料等)

営業権の償却による減少 27百万円

敷金保証金の増加 79百万円  
長期前払費用の減少 56百万円

1年以内の長期借入金の増加 285百万円  
短期借入金の増加 338百万円  
1年以内の設備手形・長期未払金の差引減少 167百万円  
支払手形の増加 54百万円

長期借入金の増加 924百万円  
設備購入手形・長期未払金の差引減少 439百万円

公募増資による増加 265百万円  
未処分利益の増加 157百万円

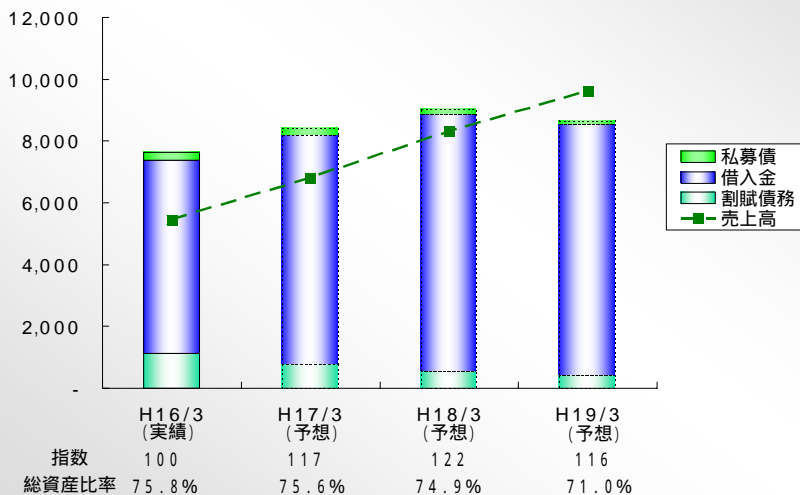
# 中間損益計算書

	前中間期末 H15/9期	当中間期末 H16/9期	前期比 (%)	H16/9期 計	H16/9期 画計	H17/3期 予想
売上高	2,517,456	3,136,998	124.6	3,094,000	101.4	6,800,000
売上原価	1,987,098	2,522,748	127.0	2,496,300	101.1	5,450,600
売上総利益	530,357	614,250	115.8	597,700	102.8	1,349,400
販売費及び 一般管理費	240,897	258,793	107.4	265,400	97.5	545,400
営業利益	289,459	355,456	122.8	332,300	107.0	804,000
営業外収益	52,102	43,291	83.1	60,600	71.4	88,400
営業外費用	150,332	176,688	117.5	174,200	101.4	325,400
経常利益	191,229	222,059	116.1	218,700	101.5	567,000
中間純利益	78,224	82,416	105.4	81,700	100.9	255,200

<b>売上原価の内訳</b> (前年同期比) 仕入原価 225百万円(12.6%増) (内、機器除売却原価 19百万円(1.9%増)) 店舗原価 2,297百万円(28.6%増) (店舗原価の増加要因) ・リース料の増加 260百万円(65.2%増) ・人件費の増加 103百万円(29.9%増) ・地代家賃の増加 80百万円(30.6%増) ・支払手数料の増加 52百万円(58.6%増)	<b>販売費及び一般管理費</b> (前年同期比) 人件費の増加 4百万円(3.1%増) その他、租税公課、 保険料の増加 12百万円(63.0%増)	<b>営業外費用</b> (前年同期比) 支払利息の減少 5百万円(3.7%減) 分割実行期間付シンジケートローンのアレンジメントフィーの増加 18百万円 受取地代家賃原価の増加 5百万円(69.5%増) 繰延資産等の増加 7百万円
<b>中間純利益</b> 不効率店舗の閉鎖及び既存店のリニューアルによる既存設備の除却損等の増加 23百万円		

# 有利子負債の推移見込み

単位：百万円



# 事業別売上高予実比較

平成16年9月期 売上高比較

(単位：百万円、%)

事業別	前中間期実績	当中間期実績	実績比	計画	計画比	既存店計画	既存店実績	既存店計画比
ゲーム事業	2,068	2,690	130.1	2,653	101.4	1,664	1,606	96.5
ホウリング事業	175	198	113.6	200	99.4	163	157	96.1
スパ-銭湯事業	131	123	94.2	125	98.5	125	123	98.5
カフェ事業	48	44	91.5	53	83.2	45	40	88.9
パティンギ事業	23	18	79.0	19	96.3	19	18	95.9
その他の事業	69	60	86.0	55	109.0	39	50	127.0
合計	2,517	3,136	124.6	3,106	101.0	2,058	1,997	97.0

その他の事業には、機器売上を含んでおります。

平成16年9月期 既存店月次売上高の前年比較

(単位：%)

事業別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
ゲーム事業	97.6	95.3	98.8	108.3	101.7	101.6	100.1
ホウリング事業	95.2	108.6	79.3	88.0	85.5	84.3	89.9
スパ-銭湯事業	95.9	102.3	88.5	98.3	89.9	90.9	94.2
カフェ事業	85.5	91.5	78.0	89.5	77.2	80.4	83.4
パティンギ事業	100.8	101.2	85.3	88.4	78.6	82.8	89.5
その他の事業	220.9	150.4	79.0	89.4	86.6	51.0	100.3
合計	99.6	98.0	95.3	104.3	98.9	96.3	98.3

その他の事業は、機器売上を含んでおります。

# キャッシュフロー計算書

単位：百万

	前中間期		当中間期	
	H15年9月30日現在		H16年9月30日現在	
営業活動によるキャッシュ・フロー	348		392	
投資活動によるキャッシュ・フロー	513		893	
財務活動によるキャッシュ・フロー	120		717	
現金及び現金同等物の増加額	44		217	
現金及び現金同等物の期首残高	441		414	
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	396		631	

非資金費用

税引前中間純利益	151百万円	消費税・法人税等の支払額	142百万円
減価償却費	301百万円		
店舗閉鎖等による有形固定資産除却損等	63百万円		

新規出店及び既存店舗のリニューアル等に伴う有形固定資産の差引資産残高の増加	887百万円
敷金・差入保証金の支出の増加	47百万円
定期性預金の払出による差引収入	39百万円

長期借入金の差引増加額	1,178百万円
設備等の割賦債務の減少	228百万円
短期借入金の減少	171百万円
社債償還による支出	30百万円
配当金の支払	25百万円

